

## 小諸市農業青年クラブ 冬季学習会を開催しました

小諸市農業青年クラブ（会員数：24名）では、1月24日（火）に、県農業技術課近藤副主任専門技術員、農薬メーカー2社を招いて、病害虫防除の学習会を開催しました。

小諸市農業青年クラブのクラブ員は、栽培品目が野菜、水稲、果樹等、多岐にわたり、栽培方法も慣行栽培や減農薬栽培等、それぞれの方法で農業に取り組んでいます。

クラブの活動として、クラブ員全員の共通課題となる「農薬」に焦点をあて、近年問題となりつつある病害虫の薬剤抵抗性への対応策、農薬の効果的な使い方について学ぶために、今回の学習会を開催しました。

県農業技術課近藤副主任専門技術員からは、「薬剤抵抗性対策をふまえた病害虫防除」と題して講演いただきました。病害虫が薬剤抵抗性を獲得するメカニズムや歴史を説明いただいた後、薬剤抵抗性の発達を防ぐための考え方、対策も踏まえて講演いただきました。

また、農薬メーカーの方からは、「水稲除草剤の効果的な使い方」、「展着剤の有効活用」と題して講演いただきました。

除草剤の講演では、水稲除草剤を中心に薬剤が処理後、どのように動くか、そして効果を発揮するまでのメカニズム、上手に効かせるためのポイント等を学びました。

展着剤の講演では、展着剤の機能について説明いただきました。講演の中で、実際に消泡性、湿展性の効果を見せていただき、展着剤への理解を深めました。

講演会の最中には、クラブ員から「年をまたいでローテーションを考えた方が良いか？」等、積極的に質問が出されました。

「今回の学習会で習ったことをふまえて防除暦を見直したい」、「他の薬剤についても詳しく知りたい」といった感想が聞かれ、クラブ員にとって有意義な学習会となりました。



近藤副主任専門技術員の講演



農薬メーカーによる展着剤の湿展性の実演